

ITOSUGI

いとすぎの丘



高大連携事業 (豊田高等学校)



自治会の活動



オープンキャンパスミニ

Web オープンキャンパス開催

Pick Up



新型コロナウイルス感染症の影響で今年のオープンキャンパスはwebで開催しました。

■ 大学の活動

- 新型コロナウイルス対策下での学校風景
- FD・SD研修会
- 高大連携事業 (豊田高校)
- 豊田市プラットフォーム
- 防災マイスター
- Webオープンキャンパスを開催
- オープンキャンパスミニを開催
- オープンキャンパスZoom
- 個別相談会を開催

■ 学生生活

- RCT☆LINK
- 新サテライトキャンパス開設

■ 入試情報

- 令和3年度入学試験日程

■ Information

新型コロナウイルス対策下での学校風景 授業

新学期が始まろうとしている頃、新型コロナウイルスの感染拡大に関わる緊急事態宣言が発出されることをうかがわせる状況となったことから、開講日程、授業方法の調整が行われました。全国および愛知県の感染者数の動向を見つつ授業開始日を5月11日（月）に延期とし、授業方法はライブ配信、動画配信、そして教材配布をとり合わせて行うことになりました。これに伴い、教員は対面で実施してきた講義の内容を損なうことなく、遠隔授業の形式に改める作業を行い、一方、学生も、遠隔授業を受けるための環境整備が進められました。これらの準備を経て、予定どおりTeamsを利用したライブ配信授業や動画配信などによる授業が開始されました。

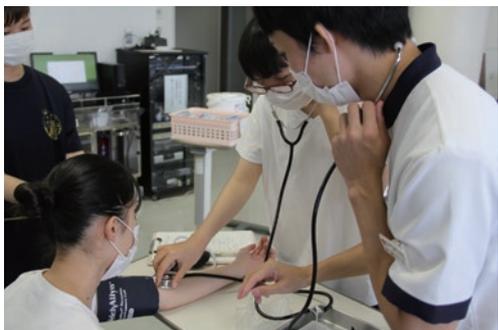
ライブ配信による授業は当初戸惑うところもありましたが、徐々に日常の風景となったように思います。学生の受講環境もスマートフォンのみで受講する学生がおり、十分とは言えない状況だったと思います。しかし、現在は大学からPC貸し出しが行われるなど、環境整備が進められています。



ライブ配信授業実施の様子

新型コロナウイルス対策下での学校風景 学内演習

7月9日（木）・30日（木）の2日間に1年生の学内演習が実施されました。緊急事態宣言以降初めての対面授業のため3密（密閉・密接・密集）の場を作らないことが徹底されました。実習室は、感染予防対策のため階段教室をたたみベッドの周囲を2 m間隔に、学生が



ベッド周囲で使用する丸椅子もソーシャルディスタンスを保つため1 m間隔に並べました。床に印をつけて、適切な間隔を意識できるようにしています。学生は、1週間前から健康観察記録を使って体温と症状をセルフチェックして、演習に臨みました。演習では、正しい血圧の値を測定することを目指して、何度もお互いの腕にマンシェットを巻いたり、コロトコフ音をダブルステートを使って患者役・看護師役が聞き合いました。大きな声を出すことが禁止されているため、お互いのコミュニケーションは小声でマスク越しで行われましたが、うまくいった時などに笑顔が見られ、実習室に久しぶりに学生の熱気が溢れました。終了時には、使用した器具のアルコール消毒とベッド周囲を界面活性剤でふき取りし、感染防止に努めました。

新型コロナウイルス対策下での学校風景 自治会の活動と学校生活

3年 窪田 瑠奈

今年度の自治会は、新型コロナウイルスの影響により全自治会員での活動はできませんでしたが、7月に新入生への学内案内や自治会員への補助金配布案などの検討を進めてきました。少しでも新入生に学内施設のイメージをもってもらえるよう各部屋の説明や利用方法などを少人数に分かれて実施しました。補助金の配布案では、学生の意見を取り入れるのが難しい状況ではありましたが、オンライン上での自治会総会により学生に意見を求めることができ、準備を進めています。今後もより良い学生生活の実現に向けて活動していきたいと思います。

前期の授業は、オンライン授業にて学習を進めてきました。初めてのことであり、授業日程の管理や、す

ぐに質問できない状況など苦労することもありましたが、自己管理を徹底し学習に取り組んできました。個人で学習を進める形のみとなり、友人や先生がいる環境で学習できていたことへの有り難さを感じました。今後の確実な見通しはまだつきませんが、どんな環境であれ、将来に向けて勉強に励んでいきたいと思っています。



新型コロナウイルス対策下での学校風景 病院実習

成人看護学領域 教授 東野 督子

病院においては、疾患や治療によって感染防御機能が低下している患者の方々が入院しています。そのため清潔な療養環境の提供や治療やケアを提供する医療者には徹底した感染予防技術の実践を望まれていることは言うまでもありません。今回、新型コロナウイルス感染拡大を予防する目的で、実習においても領域間の違いはあるものの予定していた実習計画とは違う方法で実施することとなりました。具体的には成人看護学実習は6週間の臨地での実習を、2週間の臨地実習と4週間の学内実習に切りかえました。学内実習は事例を用いた看護演習と臨床に近い環境を整えて高機能モデル人形を用いたシミュレーション実習としました。その大前提である、学生への感染予防教育として新型コロナウイルス感染対策本部実習班主催の「必携・病院実習・感染対策教育マニュアル」の講義¹⁾とこのマニュアルを用いて4年生135名に対して、手指衛生およびPPE（手袋、エプロン）の着脱を確実にできる実践的な演習を行いました。演習の効果であるとは言い切れませんが、現時点において、教員・学生ともに新型コロナウイルスの感染事例の報告はなくまた、学生は感染予防に真剣な表情で取り組んでいたことは事実として申し添えます。以下に学生への感染予防教育についての概要を示します。

目標：4年生全員（135名）感染予防に関する学内演習を通して、感染予防行動を実施できる。



- 1) 期間：6月1日（月）から7月13日（月）（6～34名を1グループとして7回の演習で実演する）
- 2) 実施方法と担当者
 - ・感染予防に関する学内演習の講義・演習（60分）：ICD 下間正隆
 - ・感染予防看護技術の実演（30分）：東野督子

演習（講義）項目	主な内容
① 手指衛生（手指消毒・手洗い）	・手指消毒の要点（擦式消毒剤を用いる方法）と手指衛生のタイミング等
② 手袋の着脱	・手袋の着脱
② 個人防護具（エプロン）の着脱	・個人防護具（PPE）と個人防護具の着脱
③ マスクのはずし方	・マスクのつけ方ははずし方

1) 日本赤十字豊田看護大学ホームページ、新型コロナウイルス感染症への対応について
<https://www.rctoyota.ac.jp/wp-content/uploads/2020/06/25ddf26727b5abc4cc896f05803b43db.pdf>

新型コロナウイルス対策下での学校風景 学内実習

本学では、看護師・保健師免許の取得を目指し、学生たちが日々学習しています。病院や施設などの現地で学ぶ「実習」の機会もありますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の関係で、実習の一部を学校で行いました。ここでは、公衆衛生看護学実習の学内実習を紹介します。



学内実習における環境測定の様子

公衆衛生看護学実習は、保健師免許取得に向けた実習です。本学では、保健所や保健センターなど自治体で4週間、企業の健康管理室など産業の場で1週間の実習をしています。今年度は特に産業の場での実習の一部を、学内実習に振り替えたり、リモート実習に変更したりするなどの対応をしました。

振り替えた学内実習では、企業で行われている職場の安全を確かめるための職場巡視を、模擬的に学内で実施しました。消火器やAEDの配置状況、転倒しやすい場所などの確認や、温度や湿度、照度などの環境測定を実施し、学生間で改善点を話し合いました。

リモート実習では、企業の健康管理室と大学をweb会議システムでつなぎ、写真や動画の視聴をしながら、企業の保健師の説明を受けました。また、自分が保健師ならばこの健康状態の社員にどのようなアドバイスをするか、といった事例への保健指導案の作成を行い、企業の保健師から助言を得て、産業の場における健康管理について理解を深めました。

このように学内実習でも、本学は学びの質と感染対策の両立に向けた努力を重ねています。

FD・SD研修会

9月1日（火）愛知県内にキャンパスを有する大学等の教職員を対象に、大学の運営に必要な知識・技能向上を目的としたFD・SD研修会「日本赤十字豊田看護大学における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた教育的取り組み」を開催しました。

この研修会は豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム事業の一環であり、豊田市と大学間の連携を強化し、豊田市の高等教育を活性化することを目的としています。

鎌倉 やよい 学長による開会の挨拶に続き、本学ICD（Infection Control Doctor）の下間正隆 教授による新型コロナウイルスの基礎知識や、新型コロナウイルス感染拡大防止ための本学の取り組みについて講演しました。

また、演習として本学成人看護学の東野 督子 教授による手指消毒や手袋、エプロンのはずし方、廃棄の方法を行いました。

この研修会は、本学教職員、直接本学に来校しての参加のほか、ZOOMによる配信も行いました。103名の方が参加し、そのうち約半数がZOOMでのライブ配信により参加しました。



高大連携事業（豊田高等学校）



8月4日（火）～6日（木）にかけて本学にて愛知県豊田高等学校の2年生が「健康生活支援演習」を受講しました。この演習は、高大連携協定の締結により同校の「医療・看護コース」における教育の充実と活性化を図ることを目的に行われています。本年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、例年グループワークで行っていたハザードマップの作成や自助・共助については、グループ討議という形で進めました。演習では、三角巾を用いた応急処置とBLS（一時救命救急）を行いました。三角巾の「たたむー留めるー外す」の基本動作では、全員で時間を競い合いながら応急処置を楽しく体験しました。

豊田市プラットフォーム 社会人防災マイスター養成講座

9月末、第12回社会人防災マイスター養成講座の修了式が行われました。本講座は自治体・企業・コミュニティにおいて、防災対策や啓蒙活動に係る関係者に対して、防災関連科目の講習を通じて、防災マイスターを育てることを目的に平成21年10月から愛知工業大学が主体となり、毎年、開講しています。受講者は、災害に対して危機意識を持ち、自助・共助を強化し、自施設の防災にどのように努めていけばいいかを1年間、講義・演習・見学・グループワークを通じて学び、最後に各自の取り組みに対して研究発表を行いました。企業の方、自主防災会の方など職種も立場もまちまちで、問題意識の多様性に加え、自分の得意な分野を活用し、本講座からの学びを活かした研究内容も興味深いものでした。

今回より、本学が「災害医療」を担当し、知識と傷病者の応急処置方法について、講義と演習を組み合わせで行いました。コロナ渦でリモートによる演習に戸惑いながらも、皆さん、とても真剣に学んでくださったのが印象的でした。令和2年10月から開講した第13回の講座でも、災害医療について、より興味を持って実践していただけるような講義内容を展開していきたいと思っています。



Webオープンキャンパスを開催

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、例年通りのオープンキャンパスができなくなりましたが、本学を広く深く知ってもらうために、Web上での開催をいたしました。多くの教職員、学生の協力を得て、沢山の魅力あふれる動画をアップすることができ、9月末現在で、28本の動画をホームページで紹介しています。

学長の挨拶に始まり、入試制度、奨学金など受験生に直接役立つ情報に加え、学校行事、学生生活、各領域の特徴や授業内容の紹介など、受験生が知りたい大学の情報をいつでも自由に見ることができる内容となっています。学生による座談会では、大学の授業・実習で感じたこと、入学時の思いや自分が目指す看護師像、受験対策などを、学生が自分の言葉で語ってお

り、大学を身近に感じることができると思います。

動画作成の過程では、多くの人の本学への愛情と団結力を感じることができました。教職員と学生の協力があってこそその成果です。皆の思いがこもった動画となっています。受験生のみならず、ぜひ多くの方に見て頂きたいと思います。



オープンキャンパスミニを開催

8月29日(土)と10月3日(土)にオープンキャンパスminiを開催しました。今年度は、新型コロナウイルス



感染症対策を万全に行い、参加人数を少なくしての開催となりましたが、その分、個別の質問等に丁寧に対応することができました。特に、学生サポーターが事前準備から協力してくれたため、当日の運営もスムーズで、しかも手書きのメッセージカードを参加者ひとり一人に渡すなど細やかな対応をしてくれました。参加者からは、「メッセージカードがとてもうれしかった」、「学生さんの対応がとてもよく話しやすかった」、「聞きたいことに丁寧に答えてくれた」など、多くの感想をいただきました。受験対策の支援や学生生活がイメージでき、本学の魅力や特徴を知っていただいた2日間となりました。

オープンキャンパスZoom個別相談会を開催

9月19日(土)、10月17日(土)、11月7日(土)にZoomを使った個別相談会を開催しました。高校生からの質問に対して、学生サポーターは自分の体験をもとに具体的に回答していました。また、大学生活の話には笑い声も聞かれました。参加された高校生からは、「短い時間だったけど聞きたいことが聞けました」と、高評価をいただきました。



RCT☆LINK

大学で学ぶ大切さと新たな挑戦

3年 諸岡 恵里奈

2020年度前期は、新型コロナウイルスの影響で、感染拡大防止のため対面授業を中止し、オンライン講義となりました。オンラインでの講義を受けるにあたって、慣れないパソコン操作、時間・課題の管理などに追われ一日一日があっという間に過ぎていき、私にとって、想像以上に精神力・体力を消費する毎日でした。そんな中気付いたことは、大学で仲間と共に学ぶ大切さです。これまでは、大学に行き講義中は周りに仲間がいて、そんな環境が当たり前でした。しかし、オンライン講義では、課題について確認し合ったり、情報共有する仲間が隣にいないことで不安になることが多くありました。仲間と同じ場で共に学ぶことは、助け合い、高め合い、私にとって頑張る源になっていると感じました。3年後期はいよいよ実習が始まるので仲間と共に学ぶ時間を大切にしていきたいと思っています。

私は、カンボジアで現地の子どもたちに保健活動を行う“The serendipity”というサークルに所属していま



す。例年3月にカンボジアへ渡航し活動していましたが、新型コロナウイルスの影響で渡航直前に今回の渡航は中止となり、2021年3月の渡航も諦めることとなりました。その為、日本にいる私たちでもカンボジアのためにできるような、これまでとは異なる新たな方針を考えています。現地で活動している日本人の方と連絡を取りカンボジアの現状を知り、現地の人のためにできること、日本から笑顔を届けられるような活動をメンバーと模索していきたいです。今後の“The serendipity”のためになる挑戦の1年にしていきたいです。

新サテライトキャンパス開設



本学のサテライトキャンパスが9月1日（火）より名古屋市東区白壁から移転しました。

新しいサテライトキャンパスは名古屋市昭和区の名古屋第二赤十字病院南側に建設された日赤愛知災害管理センター地下1階となります。

新サテライトキャンパスでは本学大学院の授業開講や大学院生用の自習スペースを提供します。本学の大学院生の多くは、就業しながら勉学を継続しており、

名古屋市営地下鉄「八事日赤」と直結しているこのキャンパスは交通の利便性が高く、一層の学習効果が期待できます。また、近年頻発する地震や台風による自然災害に対し、本学は日赤愛知災害管理センター内において、日本赤十字社と協働して被災者に対する支援活動を計画しています。

これからも本学は看護学の発展に寄与する研究・教育者の養成を目指します。



令和3年度入学試験日程

令和3年度 日本赤十字豊田看護大学看護学部看護学科選抜日程

(試験会場 日本赤十字豊田看護大学 : 愛知県豊田市白山町七曲12番地33)

試験の種類	募集人員	出願期間 ※1	試験日	合格発表	入学手続期間	選抜方法(科目等、配点)
大学独自選抜	40名	令和3年 1月4日(月)～ 1月21日(木)必着	令和3年 2月2日(火)	令和3年 2月10日(水)	令和3年 2月12日(金)～ 2月22日(月)まで	【必須科目】 国語総合(古文・漢文を除く) (配点:100点) コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・ 英語表現I (配点:100点) 【選択科目】 (配点:1科目100点) 次の①、②、③から1つを選択 ① 数学I・数学A ② 化学基礎 ③ 生物基礎
大学入学 共通テスト 利用選抜 (前期A)	6名	令和3年 1月4日(月)～ 1月21日(木)必着	本学での個別 試験は実施し ません。	令和3年 2月16日(火)	令和3年 2月18日(木)～ 2月26日(金)まで	【必須科目】 国語総合(近代以降の文章) (配点:100点) 英 語 (英語リスニングを含む) (配点:100点) (配点:200点満点を100点満点に換算) 数学I・数学A (配点:100点) 【選択科目】 (配点:1科目100点) 理 科 化学基礎、生物基礎、物理基礎、地学基礎から2科目 又は 化学、生物、物理、地学の中から得点が高いもの1科目
大学入学 共通テスト 利用選抜 (前期B)	6名					【必須科目】 英語(英語リスニングを含む) (配点:200点) 【選択科目】 ①国語総合(近代以降の文章) 又は 数学I・数学Aのうち得点が高いもの (配点:100点) ②化学基礎、生物基礎、物理基礎、地学基礎から2科目 又は 化学、生物、物理、地学から得点が高いもの1科目 (配点:100点)
大学入学 共通テスト 利用選抜 (後期)	6名	令和3年 2月15日(月)～ 2月24日(水)必着	令和3年 3月6日(土) 会場 本学 上記日程は 面接試験の 実施日です	令和3年 3月11日(木)	令和3年 3月12日(金)～ 3月18日(木)まで	【必須科目】 英語(英語リスニングを含む) (配点:100点) (配点:200点満点を100点満点に換算) 面接 (配点:50点) 【選択科目】 ①国語総合(近代以降の文章) 又は 数学I・数学Aのうち得点が高いもの (配点:100点) ②化学基礎、生物基礎、物理基礎、地学基礎から2科目 又は 化学、生物、物理、地学から得点が高いもの1科目 (配点:100点)

※1. 出願期間および試験日、合格発表日は新型コロナウイルスの感染拡大状況によって変更になることがあります。(大学入学共通テスト利用選抜(後期)の面接試験実施日も含む)

注: 出願の際に必ずインターネット出願ガイド、募集要項で確認をして下さい。

入試トピックス

①大学独自選抜の科目、出題範囲について

- 選択科目「理科」について
選択の「理科」について科目を「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」→「化学基礎」「生物基礎」に変更します。
- 選択科目「数学」出題範囲について
「数学A」の出題範囲は「整数の性質」「場合の数と確率」「図形の性質」とします。

②大学入学共通テストの利用方法について

「大学入試センター試験利用入学試験」は、「大学入学共通テスト利用入学選抜」として継続して利用します。

- 国語の記述式問題の得点化について
記述式問題の導入が見送られたため、従来どおり解答方法は「マーク式」となりました。
- 数学Iの記述式問題の得点化について
記述式問題の導入が見送られたため、従来どおり解答方法は「マーク式」となりました。
- 「英語」について
前期Aおよび後期は、リーディング100点、リスニング100点の合計200点を100点に換算し、合否判定に使用します。
また、前期Bは、リーディング100点、リスニング100点の合計200点をそのまま合否判定に使用します。
- 「前期B」の選択および配点について
選択については、国語・数学から1つ、理科(化学基礎、生物基礎、物理基礎、地学基礎から2科目・化学・生物・物理・地学)から1つを選択し、2つ以上受験した場合は、高得点のものを合否判定に使用します。
また、配点については、必須「英語」200点、選択「国語・数学」100点、選択「理科」100点の総点400点とします。

③英語の資格・検定試験の活用について

- 本学におけるすべての入学者選抜において、活用しないこととします。

④「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価について

- JAPAN e-Portfolioは利用しません。
また、出願時に提出を求める『調査書』は点数化したり合否判定に使用することはできませんが、大学入学後の大学教育、大学生活の参考資料として活用します。

Information

Event

■大学行事

11	2日(月)	推薦選拔出願開始 ～19日(木) 高等学校長・社会人 ～26日(木) 赤十字特別	2	2日(火)	大学独自選抜	
	12	5日(土)		推薦選抜	10日(水)	大学独自選抜合格発表
	14日(月)	推薦選抜合格発表		15日(月)	大学入学共通テスト利用選抜(後期)出願開始 (～24日(水))	
1	29日(火)	年末年始休業(～1月3日(日))	3	16日(火)	大学入学共通テスト利用選抜(前期)合格発表	
	4日(月)	授業再開 大学独自選抜・大学入学共通テスト 利用選抜(前期)出願開始(～21日(木))		22日(月)	大学院入学試験	
	6日(土)	大学入学共通テスト利用選抜(後期)		26日(金)	大学院入学試験合格発表	
				11日(木)	大学入学共通テスト利用選抜(後期)合格発表	
				16日(火)	卒業式	

最新情報をチェック!

入試情報や最新情報を発信していきます

LINE 公式アカウント



Instagram



Twitter



愛知県内の赤十字施設の共同Instagramを開設しました【@nisseki_aichi】

令和元年度 事業活動収支計算書

平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日

■事業活動収入の部		(単位:円)		
区分	科目	予算額	決算額	差額
教育活動収入	学生生徒等納付金	902,422,000	877,442,000	24,980,000
	手数料	27,910,000	16,373,240	11,536,760
	寄付金	4,226,000	2,692,438	1,533,562
	経常費等補助金	121,888,000	124,813,544	△2,925,544
	付随事業収入	500,000	1,575,000	△1,075,000
	雑収入	6,349,000	6,520,817	△171,817
	内部取引	1,896,000	2,729,460	△833,460
	教育活動収入計	1,065,191,000	1,032,146,499	33,044,501
外教育活動収入	受取利息・配当金	7,178,000	4,795,852	2,382,148
	その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	7,178,000	4,795,852	2,382,148	
特別収入	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	250,000	623,468	△373,468
特別収入計	250,000	623,468	△373,468	
事業活動収入計	1,072,619,000	1,037,565,819	35,053,181	

■事業活動支出の部		(単位:円)		
区分	科目	予算額	決算額	差額
教育活動支出	人件費	697,061,000	658,549,367	38,511,633
	教育研究経費	316,135,000	308,675,351	7,459,649
	管理経費	106,187,000	91,442,313	14,744,687
	内部取引	17,939,000	17,759,102	179,898
	教育活動支出計	1,137,322,000	1,076,426,133	60,895,867
外教育活動支出	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	
特別支出	資産処分差額	0	2,962,006	△2,962,006
	その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	0	2,962,006	△2,962,006	
事業活動支出計	1,137,322,000	1,079,388,139	57,933,861	
	基本金組入前当年度収支差額	△64,703,000	△41,822,320	△22,880,680
	基本金組入額合計	△175,717,000	△38,571,611	△137,145,389
	当年度収支差額	△240,420,000	△80,393,931	△160,026,069

令和元年度の財務状況は、サーバー及び空調機器更新、ホームページの更新やWeb出願システムの導入により、240,420千円の支出超過予算でしたが、人件費支出および基本金組入額の減少により、当年度支出差額は80,393千円の支出超過となり、160,026千円圧縮することができました。

編集

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。皆様はどのような秋を味わっていらっしゃいますか。

後記

後期の一部対面授業の再開に先立ち、学内にWi-Fiを整備し、学生用貸し出しパソコンも多数用意しました。キャンパスに学生の笑顔が戻り嬉しい限りです。今後も教職員一丸となって、感染対策や学習環境の整備に努めて参ります。

「いとすぎの丘Vol.32」をお届けします。今号はCOVID-19感染対策の下、教育の質を保証する様々な取り組みを紹介するほか、高大連携事業や防災マイスター養成講座等の様子もお伝えしています。ご執筆下さった方々にお礼申し上げます。今後も様々な話題をお送りして参ります。皆様のご投稿をお待ちしております。

いとすぎの丘 Vol.32

発行日/2020年11月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学

入試・広報委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5228 FAX 0565-37-8558

E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp

HP <https://www.rctoyota.ac.jp/>